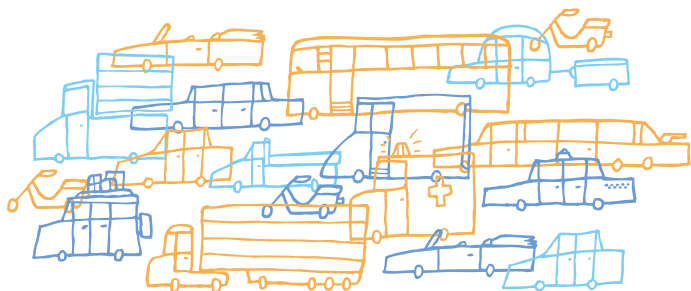


政府は現在、働く人々がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる一億総活躍社会の実現に向けて、『働き方改革』を推進しています。運送業界でもそれに合わせて、長時間労働の是正や労働条件の改善などの取り組みを進めているところです。

そこで今回は、運送業界における働き方改革の実現に向けた政府の行動計画について紹介します。



「物流危機」を回避するために策定

トラック輸送産業は、国の経済活動や国民生活を支え、ライフラインとして大きな役割を果たしています。しかし今後、労働時間の長さや不規則な勤務体系など労働環境の課題に加え、少子高齢化、定年による大量退職などで運送業界に従事する人材の確保が一層困難になることが懸念されています。つまりこの先、ドライバーが不足して“物が届けられない”という「物流危機」が現実味を帯びているのです。

これらを背景に政府では、今年の5月30日「自動車運送事業の働き方改革の実現に向けた政府行動計画 ～「運び方改革」と安全・安心・安定(3A)の職業

運転者の実現～(以下、行動計画)」を策定。これは、「運送業界における」働き方改革を推進するために策定されたもの。長時間労働の是正に取り組みやすい環境の整備を図るとともに、さらに取り組みを促すため、インセンティブや抑止力を強化していきます。

そして計画のなかでも、荷主企業の協力を得つつ、女性や高齢者を含む多様な人材が活躍できる「ホワイト物流」の実現と「荷待ち時間の削減に向けた荷主への働きかけ」の2項目は、重点検討項目としてあげられています。

出典：公益社団法人 全日本トラック協会「広報とらっく 6月1日号」

「運び方改革」に向けた取り組み

「ホワイト物流」の実現

課題

- ・運送業界の人材不足が深刻化。現状のままでは、今後、必要な物流機能が確保できなくなるおそれがある。
- ・人材確保のための取り組み強化が必要であるが、荷待ち時間の短縮など、運送事業者の努力のみでは解決困難な課題が多く存在。

解決施策

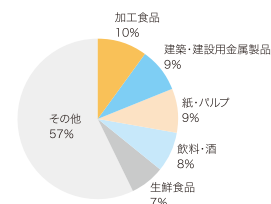
- ①「ホワイト物流」実現国民運動（仮称）の展開
女性や若者、高齢者などの多様な人材が活躍できる「ホワイト物流」の実現に向けた国民運動を展開。物流の生産性向上と労働者の労働環境・条件の改善を推進する。
- ②「ホワイト物流」評価の仕組み作り
「ホワイト物流」に取り組む物流事業者や荷主企業に対して評価する仕組みを設け、優良事例や先進事例の普及・啓発を図る。

「荷待ち時間の削減に向けた荷主への働きかけ」

課題

長時間労働の要因となっている荷待ち時間の削減を図るうえで、荷主企業の協力が必要。

【参考】荷待ち時間(30分以上)が生じた割合(輸送品目別)



出典：国土交通省「「重点検討項目」の検討状況について」より作成

解決施策

- ①荷待ち時間の削減に向けた荷主への働きかけ
現状の調査を実施するとともに、荷主団体などに荷待ち時間の削減に向けた働きかけを実施する。
- ②荷主に対する労働時間や適正取引に関するルールの周知・啓発
労働時間や適正取引に関するルールについて、荷主団体の会議などの場を活用して、周知・啓発を図る。

運び方改革を推進し3Aの実現へ

人材不足による「物流危機」を回避するために、国では今年度から行動計画の具体的な進め方が検討・調整されています。一方民間においても、物流が「競争領域」ではなく「協調領域」という意識に変わってきており、販売では競合する企業同士であっても、物流に関しては協調し、共同物流などを行う動きが拡大しています。また運送事業者でも、中継輸送や

連結トラックなどの導入によって労働時間を改善していく、『運び方改革』に向けた取り組みが始まっています。

魅力ある運送業界にしていくためにも、まずは長時間労働および不規則な勤務体系の改善が急務です。運送事業者・荷主企業・国が真剣に課題と向き合っていくことで、3K労働から脱却し、3A(安全・安心・安定)の業界の実現につながっていきます。

出典：国土交通省「「重点検討項目」の検討状況について」、公益社団法人 全日本トラック協会「広報とらっく 6月15日号」より作成